

日本語を学ぶ中国人

湯浅 真澄

中国に来てから、沢山の中国人の友達ができました。中でも多いのが、日本語を勉強している中国人の友達です。私たちはよく一緒に勉強したり、分からないところを教えあったり、お互いの文化や社会、歴史について討論したりしています。今回、彼らがどのような経緯で日本語を学ぶに至ったのか、日本の何に関心を持ち、どんな目的で学んでいるのかなど、日本語を学ぶことについての四つの質問を設け、自由に答えてもらいました。

① 日本語を学ぶきっかけ、なぜ日本語を選んだのか

特に日本語学科の学生で一番多かったのは、語学を学ぼうと思ったときに、英語ではない別の言語を勉強してみようと思って日本語を選んだ、という声です。何年も勉強している英語ではない言語を学びたい、また英語に加えてもう一言語選びたい、と日本語を選んだそうです。

また、元々英語学科志望だったが、大学入試の点数が足りず、やむを得ず第二志望の日本語学科になってしまった、という人もいました（中国の大学はほとんどが公立で、大学名で受験するため、入試の点数が高い順に希望の学科に振り分けられる）。

国際貿易専攻のとある友達は、今後の生活や仕事への利益を期待して、また、視野を広げて人生を豊かにするため、英語と日本語を身に着けることに決めたといいます。

日本は中国と近く、世界の先進国であるという理由で選んだ人、日本語の多くの単語が中国語と同じで、比較的簡単そうだからという理由で選んだ人もいました。単純に日本文化に興味があったから、好きだから、という人もいます。

② 日本の何に対して興味があるか

やはり多かったのが、日本の漫画やアニメです。実際私が中国で生活していても、漫画やアニメについて聞かれることが非常に多いです。このことから、いかに日本の漫画やアニメが中国でも人気があるかが分かります。文化では、他にも舞妓や2.5次元舞台劇、音楽劇、ロリータ服、制服、精細な工芸品、温泉、食べ物などが関心を集めています。

清潔な環境（たまに、「日本って道にごみが落ちてないんでしょう？中国の道は汚いでしょ？なんて聞かれます(笑)」）や建築、桜や紅葉、富士山な

どの美しい景色などに興味がある人もいます。

また、日本の経済や教育、化粧品、日本人の仕事に対する態度、社会における西洋文化との独特な融合、政治制度の特色に関心を持つ人もいました。

しかし総じてみると、やはり漫画やアニメをはじめとした日本文化への関心が圧倒的に高いようです。

③ 日本語を学ぶ目的

特に日本語学科の学生だと、通訳になって日中友好の発展に貢献したい、日中企業で働きたい、日本に留学に行きたい、など、日本語学習を将来のキャリアにつなげたいと考えている人が多いようです。

また、個人の成長のため、世界への扉を開くため、異なる文化を体験するため、など日本語学習を通して自分の視野を広げたいという人もいました。

日本人と交流したい、日本人の友達を作りたい、日本を旅行したい、などの声も聞かれました。

字幕なしで宝塚などの舞台劇を見るために日本語を学んでいる、という人もいました。

④ 日本語を学んで感じたこと

まず、中国語との共通点が多いことがあげられました。これは私も、別の外国人留学生と一緒に中国語を勉強していてよく感じることです。中国では簡体字、日本では繁体字が使われていますが、漢字の簡略化のパターンを覚えてしまえば、ほとんどの漢字が日本で使われているものと同じであることが分かります。また、漢字も意味も同じ単語もかなり多いです。語学学習において、母語と学ぶ言語が似ているというのはかなりのアドバンテージになると思います。

文法が面倒くさい、敬語が難しい、という声も聞かれました。特に中国語には動詞の変形や過去形がありませんし、敬語もありません。ですので、中国人にとってはこの部分はなかなか理解しがたいのでしょう。

また、これは語学学習に普遍することだと思うのですが、始めたころは面白かったが覚えることが多く辛い、学べば学ぶほど知らないことが出てくる、という人もいました。

日本の友達ができ、いろんな話題について語り合ったり、互いに進歩したりすることができて楽しい、という意見もありました。私自身、彼らと交流する時間は本当に有意義であると感じているし、勉強熱心な彼らに日々刺激を受けています。

日本語学習者の多い国・地域

順位	国・地域名	人数
1	中華人民共和国（中国）	95万3,283
2	インドネシア	74万5,125
3	大韓民国（韓国）	55万6,237
4	オーストラリア	35万7,348
5	台湾	22万0045
6	タイ	17万3,817
7	アメリカ合衆国（米国）	17万0998
8	ベトナム	6万4,863
9	フィリピン	5万0038
10	マレーシア	3万3,224

（単位：人 出典：国際交流基金「2015年度日本語教育機関調査結果概要」

（3. 地域別の状況-2015年度学習者数順位）

外務省ホームページ「日本語学習者の多い国・地域」

<<http://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/ranking/nihongo.html>>（アクセス日：2018年5月9日）

現在中国の日本語学習者は約95万人。その数は二位のインドネシア74万人を大きく差し置いて、世界第一位となっています。今世界を牽引しつつある大国・中国でこんなにも多くの方が日本に関心を持ち、日本語を学んでいる。このことは、日本人にとってもかなり大きな意味のあることではないでしょうか。私自身中国に来てから、日本語を学ぶ中国人と交流を深める中で、この交流は個人レベルのものではあるものの、国際社会にとってもかなり意義のあることであると認識するようになりました。中国に留学している一日本人として、日本人と中国人が語学を通して互いを理解しあい、より良い関係を築いていけたら、と思います。今は個人レベルのこの関係が、いつかは巡り巡ってもっと大きなものとなることを願います。